

静岡科学館る・く・るの企画展における化石ワークショップと展示のサポートについて：
静岡県地学会中部支部活動報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 坂田, 尚子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024566

静岡科学館る・く・るの企画展における 化石ワークショップと展示のサポートについて ～静岡県地学会中部支部活動報告～

坂田 尚子

平成27年1月10日(土)から2月22日(日)に静岡科学館る・く・るで開催された企画展「しずおか自然体験ミュージアム」において、静岡県地学会中部支部として2つの事業に関わった。静岡サイエンスミュージアム研究会との共催で実施された化石クリーニングワークショップと、川原の石の展示の際のサポートである。

1. 化石クリーニングワークショップ

化石クリーニングのワークショップは、掛川市遊家から運んできた化石交じりの砂(掛川層群大日層)を使って、期間中の毎土・日・祝日に行われた(図1, 図2)。各日とも1回20分の体験で、13:30～、14:00～、14:30～、15:00～、15:30～の5回ずつ行われた。1回36人体験ができ、16日間ほぼ満席であったので、参加者総数は2,880人となった。中部支部からの参加メンバーは、延原尊美, 松本仁美, 井出志津夫, 久保田実, 櫻井美津夫, 青木克顕, 島田雅史, 坂田算浩, 谷口裕美枝, 宇根一輝, 前朝琉, (敬称略)であった。科学館では、企画展開催前には、静岡大学教育学部の延原尊美教授に講師を引き受けていただいて、クリーニングと化石の見方について事前研修(平成26年11月16日)を行った。サイエンスミュージアム研究会のメンバーとともに何人かの会員が受講し、ワークショップに備えた。

ワークショップでは、完全な形をとどめた化石は少なかったが、それでもキサゴの仲間、キリガイダマシ、ツメタガイの仲間、ベンケイガイ、サトウガイなど掛川層群で産出する貝化石で種類が特定できる程度のもを見つけることができた。体験者は、貝化石を中心に数個ずつきれいにしたも

静岡科学館る・く・る



図1. 化石の種類について質問を受ける延原教授。



図2. 化石クリーニング会場の様子。

のを土産として持ち帰ることができ、残りの化石交じりの砂も持ち帰ることができたので、続きは自宅で行えると大変好評であった。

2. 川原の石の展示

企画展会場には、中央部に静岡県内の5河川（安倍川、天竜川、大井川、富士川、狩野川）の川原の石を展示することによる約10mの河川敷が再現された（図3）。その岩石の同定にも当支部より、松本仁美、谷口裕美枝、坂田算浩（順不同）が科学館のサポートに当たった。川原の石の展示は、河川ごとに石の色の違いが顕著に見られ、子どもだけでなく大人にも興味をもっていた。この企画展では各展示ゾーンにワークシートを置き、集めると一冊の「My自然図鑑」が出来上がるという、来館者により深く展示物を楽しんでもらえるような工夫がされており、川原の石のコーナーにもワークシートが2枚配置された。その結果、川原にしゃがみこみ石を細かく観察する来館者の姿が多く見られた（図4）。また、体験者からは川原に遊びに行くときは、石をじっくり見てみようという声をたくさんいただいた。

このように、今回の静岡科学館の企画展に協力し関わりを持つことで、結果的に地学的な体験を多くの市民に提供できたことは、意義深いことであった。（企画展開催中、会場を訪れた方はのべ58,637人）



図3. 企画展会場内の河川敷。



図4. My自然図鑑を手に石を観察している親子連れ。